

# Rd

RECYCLE DESIGN

May. 2015  
No. 248

横浜型地域貢献企業  
最上位認定取得

RECYCLE  
Design

坂庭資源開発  
大内 敦さん

金沢区六浦西地区  
川町内会  
長野 迪雄さん

特集

自治会・町内会で取り組む  
リサイクル活動と横浜環境行動賞



特集

# 自治会・町内会で取り組む リサイクル活動と横浜環境行動賞

横浜市には、「ヨコハマ3R夢」の推進に功績のあった個人・団体を対象にした「横浜環境行動賞」という表彰制度があります。今号では、この表彰とそこにある自治会・町内会のリサイクル活動などを対象に表彰する部門についてご紹介します。

取材協力:横浜市資源循環局  
港南区環境事業さわやかスタッフ  
中区若葉町町内会

## 10年、20年というリサイクル活動の継続が 暮らしやすい横浜の街を守っている

### 横浜市が主催する 環境行動を表彰する制度

皆さんは「横浜環境行動賞」という横浜市が主催している表彰制度について聞いたことがあるでしょうか。横浜環境行動賞は、さまざまな活動によって、「ヨコハマ3R夢」の推進に功績のあった個人、団体などを表彰する制度です。表彰を通じて、横浜市の環境行政の発展と地域社会への定着を推進するという目的があります。

この表彰には6部門があり、その中には主に自治会・町内会のリサイクル活動を対象にした「ヨコハマ

3R夢行動推進者」表彰があります。そこで今回は、この「ヨコハマ環境行動賞」と、リサイクル組合の活動と縁が深い「ヨコハマ3R夢行動推進者」表彰についてご紹介します。

### 横浜環境行動賞の 6つの表彰部門

最初に横浜環境行動賞の6つの表彰部門について説明しましょう。各部門の内容と対象となる活動は以下のようになっています。

●ヨコハマ3R夢行動推進者  
地域でのリサイクル活動、分別指導、啓発活動など「ヨコハマ3R夢」の推進に功績のあった個人、団体を

表彰しています。

- 清潔できれいな街づくり推進者  
地域での清掃活動に尽力するなど「清潔できれいな街づくり」の推進に功績のあった個人、団体を表彰しています。
- 環境事業推進委員永年在職者  
環境事業推進委員として永年にわたって活躍し、他の委員の模範となった方を表彰しています。
- 3R活動優良事業所  
事業系廃棄物の分別排出や3R活動に顕著な功績があった事業所、または事業所の団体について、日頃の活動を称え、3R活動優良事業所として認定するものです。

- 一般廃棄物収集運搬業優良事業者  
一般廃棄物収集運搬業の許可を受け、特に3R活動の中で事業系廃棄物の適正処理に貢献している事業者を優良事業者として認定します。
- ヨコハマ3R夢！ポスターコンクール入賞者

市内の小・中学校の児童・生徒を対象に「分別と3Rでごみ減量！きれいなまちに。」をテーマとしたポスターを描いてもらい、入賞作品を表彰しています。「小学生低学年の部(1～3年)」「小学生高学年の部(4～6年)」「中学生の部」があります。

## 息の長い活動が表彰の対象に

横浜環境行動賞は毎年たくさんの方と団体が表彰されていますが、横浜市資源循環局によると、現在のような表彰制度になったのは1997年度からで、当時は「横浜市環境事業功労者表彰」という名称だったそうです。その後、2003年度に「横浜G30プラン」が策定されると『「ヨコハマはG30」行動推進者表彰』という名称になり、2010年度の「ヨコハマ3R夢プラン」がスタートしてからは『「ヨコハマ3R夢」推進者表彰』となりました。

横浜市内18区から部門ごとにそれぞれ推薦をしてもらい、それを資源循環局内で選考して受賞者を決定しています。

## 市の表彰の先には県や国の表彰がある

この環境行動賞は、区の主催する表彰を受けた活動が区の推薦によって選考対象になると述べましたが、

表1: 「ヨコハマ3R夢行動推進者・団体の部」表彰でよく取り組まれている内容

●リサイクル施設の見学やセミナーへの参加	●集積場所に独自制作の案内板を掲示
●不法投棄防止のために町内を定期的にパトロール	●輪番制による集積場所の維持・管理
●定期的な集積場所の分別状況のチェックと指導	●長年にわたる資源集団回収の推進
●定期的な集積場所の清掃活動	●定期的なごみ減量、リサイクルに関する説明会の開催
	●公園や地域清掃などの美化活動

作成:リサイクル組合

表2: 「ヨコハマ3R夢行動推進者・団体の部」表彰の活動事例(抜粋)

2004年 (平成16年)	●昭和35年から44年間にわたり、資源集団回収を継続的に実施。
2005年 (平成17年)	●ペットボトルを使った「G30神輿」を制作し、G30の普及・啓発に貢献。 ●G30テーマソングを使ったダンスを創作し、イベントで披露。 ●環境問題をテーマに学習会を開催。分別収集のしおりやビデオを作成。
2006年 (平成18年)	●割き布織り、エコぞうり作りなどのリサイクル教室を開催。 ●独自のリサイクル情報を回覧し、ポスターを作成して周知。 ●子供向けに編集したG30資料を配布。 ●落ち葉、給食残飯からたい肥づくり。
2007年 (平成19年)	●G30啓発用の分別表示板を独自に制作し、住民の周知に努める。 ●外国人への分別の周知のため、外国語のチラシを作成。 ●各家庭に番号を割り付け、ごみの責任を明確にした独自体制を構築。
2008年 (平成20年)	●ごみ袋に部屋番号を記載して分別の責任を明確化。 ●定期的にフリーマーケットを開催して不用品の再利用に貢献。 ●地域のファイバーリサイクルに参加を呼びかけ、会場運営も行う。 ●マイバック運動の推進とナイトフリーマーケットを開催。 ●ひな祭り、餅つき大会などのイベントでリユース食器を活用。 ●EM菌のぼかし作りを行い、生ごみのリサイクルを推進。
2009年 (平成21年)	●独自の半透明ごみ袋を作成し、配布。 ●月刊発行の町内会報誌にG30啓発記事を掲載 ●子供たちも参加する30か所の集積所を廻るチェックラリーを実施。
2010年 (平成22年)	●実行委員会を結成して年2回フリーマーケットを開催。小学校のリサイクル教室のボランティア講師活動。 ●町内会全体でごみの出し方を番号制にし、集積場に回収漏れがないよう工夫。 ●イベントに参加して風呂敷を利用した包み方教室の開催。 ●分別状況のよい地区への見学会とビデオによる説明会の実施。
2011年 (平成23年)	●落ち葉のたい肥化と土壌混合法による土づくり講習会の実施。 ●地域内50か所の集積場所の清掃、管理を徹底。施設見学会や分別説明会を積極的に実施。
2012年 (平成24年)	●独自にごみ減量・リサイクルに関するチラシの作成と回覧を継続。 ●土壌混合法の普及に尽力し、講習会の実施に積極的に取り組む。 ●紙すき教室、衣服のリメイク教室、エコキャンドル・エコ石けんづくり、生ごみたい肥づくりなどの各種の教室を実施。 ●区役所と協働し「環境パネル展」「環境映画会」を実施。 ●運動会に分別競争を取り入れる。
2013年 (平成25年)	●イベントで収集した子供用図書に「3R夢」のメッセージシールを貼付して小学校や図書館に寄贈。 ●集積場所の早朝パトロールや分別指導を実施。 ●分別状況の悪い集積場所での啓発・指導、不法投棄対策に取り組む。
2014年 (平成26年)	●居住数が多い外国人向けに、独自に作成したマナー看板を設置。 ●廃棄傘の布を利用したエコバック、廃油を使用した石鹸を制作して配布。 ●生ごみの水切りをPRする活動。単身世帯向けパンフレットの配布。

作成:リサイクル組合



写真1：平成26年度横浜環境行動賞「ヨコハマ3R夢」推進者表彰式の様子。



写真2：港南区・環境事業さわやかスタッフが制作した傘の布によるエコバックと傘入れ。



写真3：傘の布の切れ端で制作したティッシュケースと廃油から作った石鹸。

実は、表彰は階層的な仕組みになっています。区の表彰を受けた活動が市の表彰の対象となり、市の表彰を受けた活動は県の表彰（神奈川県美化運動推進功労者表彰）の対象となります。さらに、県の表彰を受けた活動は国の表彰（環境大臣表彰・地域環境美化功労者表彰）の対象として推薦されるのです。

実際に2014年度の環境大臣表彰には、横浜市から2団体が表彰されています。保土ヶ谷区・県営花見台住宅自治会と青葉区・宿自治会です。どちらも、永年にわたって活動を継続していることが表彰の理由のひとつとなっています。

## これまで表彰を受けた活動の特徴と変遷

ここからは、横浜市環境行動賞のうち、自治会・町内会などの活動が対象となっている「ヨコハマ3R夢行動推進者」表彰に注目して説明をします。過去10年間に表彰された自治会・町内会の活動内容を詳しく見ていくと、いくつかの特徴や時代による変遷が見えてきます。

特徴のひとつは、表彰を受けた多くの自治会・町内会が同じように取

り組んでいる活動があるということです（表1）。いわば環境行動の定番ともいえる活動です。どれも町内のリサイクル活動や分別の啓発・指導に欠かせない重要な取り組みなので、自然と多くの自治会・町内会が実施しているということです。読者の皆さんの自治会・町内会の活動でも、どれかひとつは該当するものがあるのではないのでしょうか。

もうひとつは、年代によって活動に変遷があることです。活動内容には、「横浜G30プラン」がスタートする以前とスタート後、そして「ヨコハマ3R夢プラン」以降の3つの区切りがあることがわかります。

G30がスタートする前は、分別回収以前ということもあり、資源集団回収の実績による表彰が多かったようです。G30のスタート後は、G30の啓発活動として、テーマソングやダンスの創作、ビデオやポスター制作などのPR活動が表彰されているのが目につきます。そしてG30が浸透するに従い、分別指導や勉強会などの実践的な啓発活動に加えて、資源集団回収やリサイクル活動によってごみの減量に貢献した活動が多くなってきます。「ヨコハマ3R夢プラ

ン」が始まった2011年以降は、資源集団回収の実績とともに、独自のごみ減量に関するさまざまな取り組みが表彰されています。

## 表彰された活動は優れた取り組みばかり

表彰された活動の中から、それぞれの自治会・町内会の特徴的な取り組みを抜粋してみました（表2）。どの取り組みも手間を惜しんでいたら実行できないような時間と労力が必要な活動ばかりですが、読者の皆さんの自治会・町内会の活動にも参考になるのではないかと思います。

ここで、2014年度に表彰（写真1）された活動の中から「ヨコハマ3R夢行動推進者（団体の部）」の2つの町内会の取り組みを紹介します。

ひとつは、港南区の環境事業さわやかスタッフの皆さんの活動です。表彰理由は「港南区域全域での資源集団回収及びリサイクル事業の一層の活性化を目的に有志を募り、ごみの資源化・資源化の推進に貢献している。また、区内のイベントなどにも積極的に参加し、廃棄傘の布を利用したエコバックや廃油を使用した石鹸を作成し、配布することで、リ



写真4：中区・若葉町町内会では、歩道や植栽の中にごみを不法投棄しないようにネットで囲み掲示板を掲げている。

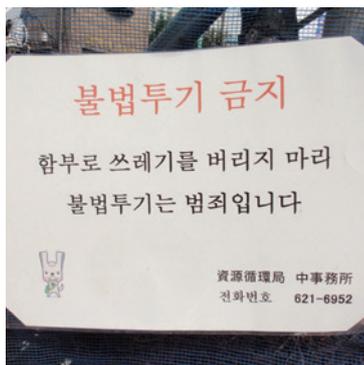


写真5：韓国語で不法投棄をしないように呼びかける掲示板。



写真6：同じく中国語の掲示板。制作には町内に住む外国人が協力してくれている。

サイクルの実践啓発を行っている」というものです。

さわやかスタッフの方たちにお話を伺ったところ、港南区の各地区から1名の代表が選ばれて、全員で15名のスタッフがいるそうです。

傘の布をリサイクルして作るエコバックは人気が高く、区のイベントなどで経費分を回収するために500円程度で販売しています。他にも、傘の布で傘入れやティッシュケースなども制作しています(写真2、3)。また、布の端切れを使ったマイ箸袋、廃油による石鹸など、さまざまなりサイクル品を制作しています。ただし最近では、100円ショップなどで、低価格の商品が購入できるため、以前ほど人気がなくなってきているのが悩みなのだそうです。

もうひとつは、中区若葉町町内

会の活動です。表彰理由は「平成9年頃からごみ集積場所の排出状況改善対策や資源集団回収の実施、定期的な地域清掃を熱心に取り組み、ごみの適正な分別及び減量化・資源化に貢献している。また、当該地区は外国人も多く居住していることから、独自に作成した外国語マナー看板のごみ集積場所への設置を進めている」というものです。

若葉町町内会の方にお話を伺ったところ、外国人の方たちはごみの出し方をよく理解しておらず、集積場所や曜日などに関係なく、道端に投棄してしまうのだそうです。不法投棄を見つければ、町内会役員がごみを出した住民を探して、警察官と協力しながら訪問したり、電話でごみの出し方を説明しているそうです。不法投棄しないように呼びかける看

板を日本語、韓国語、中国語で掲示(写真4、5、6)したり、町内を定期的にパトロールして指導しています。外国人の方たちは入れ替わりが早いので、注意したからといってごみ出しのマナーがよくなったり、不法投棄がすぐになくなるわけではないようです。しかし、改善するように努力し続けることが、きれいな街づくり、暮らしやすい町内の維持につながるので手を抜くわけにはいかないとのことでした。

このようにごみの分別や減量の啓発、資源リサイクル活動などは、一朝一夕には成果が出ないものも少なくありません。しかし、長年にわたってひた向きな努力を続けている自治会・町内会がたくさんあるので、その粘り強い活動には敬意を表するばかりです。

## 大人気! りくみのトレペ

再生紙100%のトイレトペーパー。芯なしタイプで、1ロール130mと通常の2倍の長さがあり、とってもお得です。

1パック6ロール入り・8パック1ケース  
ご注文は1ケース(8パック) 価格は **3,270円**



●お問い合わせ・ご注文……横浜資源リサイクル事業協同組合 事務局 山中 TEL: 045-444-2531 E-mail: mail@recycledesign.or.jp



これでスッキリ!

# リくみの分別講座

No. 14

## ティッシュペーパーの箱の出し方は?



# 始末の一品



今月の食材

## 【 長芋 】

長芋の皮は剥くのが苦手な人もいると思います。しかし、皮がついたままで料理しても、あまり味が落ちることはありません。今回は皮つきの唐揚げと団子汁にしてみました。

## 長芋のホクホク唐揚げ



材料(2人分)

- 長芋(皮つき)……10cmくらい
- もみのり……適量
- しょう油……大さじ1
- 片栗粉……大さじ2
- 油……適量

- ①長芋はよく洗って汚れを落とし、ひげは手でちぎる。水分をふき取ったら皮つきのまま大きめの乱切りにする。ボールに長芋としょう油を入れ、10分くらいおいて味をなじませる。
- ②ビニール袋に片栗粉を入れ、①の長芋を入れたらよく振って片栗粉をつける。
- ③160～170℃くらいのやや低めの油でじっくり揚げる。もみのりをかけていただく。

材料(2人分)

- 長芋(皮つき)……10cmくらい
- 鶏肉……70g
- まいたけ……½パック
- 長ねぎ……½本
- 水……2.5カップ
- だしの素(顆粒)……小さじ1
- 白だししょう油……大さじ2
- 塩、片栗粉……少々

- ①長芋はよく洗って、皮ごとすりおろし、塩・片栗粉を入れて混ぜる。鶏肉と長ねぎは一口大に切っておく。
- ②鍋に水を入れ、沸騰したら①をスプーンで団子状に丸めて投入する。鶏肉、長ねぎ、手でさいたまいたけも入れる。
- ③材料に火が通ったらだしの素と白だししょう油で味を調える。器に入れて好みで七味唐辛子を振る。

## 長芋の団子汁



2015年5月号 通巻248号  
2015年4月25日発行

# RD NEWS



横浜市地域貢献企業最上位認定取得

## 今年も「環境絵日記」の作品を募集

「環境絵日記」は、環境問題や環境保全について、子どもたちが家庭で話し合ったことや自分で考えた内容を絵（視覚的表現）と文章を組み合わせ、自由に表現する絵日記です。小学生の頃から環境問題を家族で考えることで、子どもたちが正しい環境知識を持ち、「新しい環境意識」を育てていくことを願って、毎年、夏休みに横浜市内の子どもたちから絵日記を募集しています。

平成12年からスタートしたこの活動は、昨年、過去最高の2万2,306

作品もの応募がありました。

今年の「環境絵日記」のテーマは、『みんなでつくる環境未来都市・横浜』です。「こんな未来にしていきたいな」というアイデアを家族や身近な人

と一緒に考えて描いてください。

詳しくはホームページをご覧ください。



環境絵日記展の様子



2014年度環境絵日記大賞作品

- HP : <http://www.recycledesign.or.jp/enikki/yokohama.html>
- 問合せ先 : 横浜市資源リサイクル事業協同組合『環境絵日記』係  
TEL : 045 - 444 - 2531 FAX : 045 - 444 - 2532

## 自治会・町内会のイベントにリサイクル組合のブースを出展

リサイクル組合では、環境やリサイクルの啓発活動を目的として、自治会・町内会や子ども向けイベントに積極的に出展しています。大人気の「資源とごみの分別体験」ゲームは、リサイクルできる資源物をゲーム感覚で分別していきます。分別体験を通じてリサイクルの意識を養うもので、分別の知識だけで

なく、分別する意味を考えながら、大人から子どもまで楽しんでいただける内容になっています。昨年は年間8回のイベントに参加しました。

自治会・町内会でのイベント・催事等で、分別の基本を学びたい、お楽しみコーナーの出展を探しているなどということがあれば、お気軽にご相談ください。



- 【内容】「資源とごみの分別体験」ゲーム
- 【概要】家庭から出る資源とごみの分別について、横浜市のルールに基づき、分かりやすい具体例を用いて説明します。
- 問合せ先 : 横浜市資源リサイクル事業協同組合 山中  
TEL : 045-444-2531 FAX : 045-444-2532
- HP : <http://www.recycledesign.or.jp/>

## 金沢区のリサイクルデザイナー

## 有限会社坂庭資源開発

### 地域密着!“誠実・安心”を合言葉に49年!

弊社は、昭和41年の創業以来、金沢区を拠点に資源集団回収、産業廃棄物、一般廃棄物の収集運搬を通して「誠実さ」を合言葉に、安心してリサイクルを任せられる会社を目指し営業してまいりました。

2006年に国際規格であるISO14001を認証取得し、産業廃棄物及び一般廃棄物の適正な処理を行うとともに、ごみ減量と資源物の回収に努め、環境保全

に貢献しています。また、作業事故や車両事故防止、運転スキルの向上、エコドライブの徹底などを定期的に確認し、安全で確実な作業に努め、リサイクル率の向上を目指しています。

地元のお客様から安心してリサイクルを任せいただけるよう、今までも、そしてこれからも従業員一同、精進してまいります。



#### ■ 有限会社坂庭資源開発

〒236-0037  
横浜市金沢区六浦東1-39-47  
TEL&FAX : 046-865-4873

#### ■ 事業内容

- 資源集団回収
- 産業廃棄物処理、一般廃棄物処理(横須賀)
- 非鉄、金属回収運搬

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます

<http://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。

